

# 三国山&長者ヶ岳山行報告

【山行日】2016年 5月 14日～5月15日(土日)

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 7,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ 石田、岩淵、大西、島田、鈴木ヤ、田村、津佐、福田タ、藤原、渡辺ト

14日 晴れ パノラマ台Pから、鉄砲木ノ頭を登り三国山から大洞山経由で箆坂峠へ

岩舟支所P6:00＝パノラマ台 P8:30/9:05～鉄砲木ノ頭 9:40/9:50～三国山 10:30/10:40～檜木山 11:10

～大洞山 11:30/12:20～アザミ平 12:40～立山東分岐 13:00～箆坂峠 13:40/14:00＝カトレア 14:50



好評の「富士山を見る山歩き」シリーズ、今年は三国山～大洞山と長者ヶ岳の2コースを歩く計画にした。大月 JCT から河口湖に向かう道路から、富士山が見えたが山頂は雲に隠れていた。



お嬢さん達が目をさまし、車中が賑やかになり、「毎年この山行は合宿みたいで楽しいよね」とはしゃいでいた。平野から三国峠に向かい、途中のパノラマ台駐車場に車を止め出発の準備をする。皆が準備をする間に、T 佐さんと二人で車を1台下山口の箆坂峠に置きに行く。パノラマ台 P に戻ると、皆さん待っていて、急いで準備をして出発する。U 字形にえぐれたザクザクの登山道を登るが、展望は良く振り返ると眼下に山中湖が美しい。富士山はすそ野だけ見えるが、半分以上雲の中に隠れ顔を見せてくれない。30分程急登を頑張ると「山中諏訪神社奥宮」が祀られた鉄砲木ノ頭(別名 明神山)

の頂上に着く。ここから山中湖を挟んだ富士山は素晴らしいが、今日は雲に隠れて見えなかった。オレンジや菓子を食べて、ゆっくり景色を楽しみ三国山に向かった。ここからは健脚組とシルバー組に分かれて行動する。三国山へは、南に火山灰のザレた道を下る。幾筋もの道がつけられているが、歩き易い道を選んで降りて行くと三国峠の道路に出る。



道路にある道標に従って三国山に向かう。しばらく急坂が続き、このコース一番のきつい登りだが30分ほど頑張ると三国山の頂上に着く。山頂は平らで広く、ベンチも置かれている。徳ちゃんが大きな袋いっぱいに入れてきた、せんべいやクッキーを食べながらシルバー組の到着を待つ。シルバー組が到着し、記念写真を撮ったら健脚組は出発する。三国山から大洞山までは、



起伏の少ない稜線が続き、ブナやミズナラの森林浴を楽しみながら歩ける。ミツバツツジやヤマツツジの花が目を楽しませてくれるが、時折、左下から富士スピードウェイの騒音が聞こえてくるのが残念である。檜木山を越えてなだらかな稜線を歩き、少し登ると大洞山山頂に着いた。倒木をベンチにしてランチタイムとし、お湯を沸かしてキノコうどんを作る準備する。シルバー組が、なかなか到着しないので駆け足で迎えに行き、器をもらって山頂に戻った。全員揃って温かいキノコうどんや出汁巻き卵、筍の煮物などを美味しくいただき下山する。

なだらかな稜線を歩き、1336m ピークから下って樹林帯を抜けると明るいアザミ平に着く。秋にはフジアザミが咲き、展望が良く富士山はもちろん相模湾まで見えるそうだが、今日はあいにく眺望が効かない。アザミ平で道が二手に分かれ、我々は直進して立山に登るが、シルバー組は右に直接箆坂峠に向かった方が良いので、S 田さんに分岐に残ってもらい先に進む。最後の急坂を登り、立山東分岐から右に降りて箆赤峠に向かった。分岐からは、T 佐さんと二人で先行し、駐車場にデポした車でパノアマ台に置いた車を取りに行く。車を取り箆坂峠の駐車場に戻ると、丁度皆さんが下山してきた。靴を履きかえ、トイレを済ませて今宵の宿「カトレア」に向かった。途中、コンビニで明日の昼食を調達し予定より早く「カトレア」に着いた。



交代で風呂に入り、5時から宴会が始まる。ビールと八海山で乾杯し、白ワインも出て好きなものをいただく。賑やかにおしゃべりの花が咲き、宴会部長のI 淵さんがあやしくなったところで夕食の時間。下の広間に移動して、第2ラウンドが始まる。いつものように食べ切れない程料理が並び、ビールを飲みながら山の話が弾んでいる。女将さんが「ビールはこれで終わりなので、2本戻してほしい」と言われ残っているビールを飲んだら食事にし、お開きにする。部屋に戻り残ったツワインを片付けて、明日に備えて早めに床に就いた。

**15日 晴れ 田貫湖キャンプ場から長者ヶ岳へ登り富士山の眺望を楽しみ、下りは休暇村経由で降り、ダイヤモンド富士展望台からの富士山の絶景を楽しむ**

カトレア 8:00＝田貫湖キャンプ場 P8:30/8:50～休暇村分岐 9:35～ベンチ 10:15/10:25～長者ヶ岳 10:50/11:00～ベンチ 11:20/11:50～休暇村分岐 12:20～休暇村 12:50～田貫湖キャンプ場 13:15/13:30＝岩舟支所 P18:25



朝起きて窓を開け、外を見るとガスツていて山の上は見えなかった。テレビの天気予報を見ると、晴れの予報なので安心した。いつものように、6時から河口湖畔の大石公園へ、朝の散歩に出かける。大石公園は花の公園になっており、四季折々の花が植えられている。花の間の遊歩道を歩くと、朝食前の運動にうってつけのコースである。7時5分前に宿に戻ると、直ぐに美味しい朝食をいただいた。

朝から沢山のお惣菜が並び、何から食べてよいやら迷ってしまう。まずは、出されたお惣菜で一善目をいただき、お代わりして納豆で二膳目をいただくが全部は食べ切れない。朝食が済んだら、荷造りをして宿を出発する。国道139号線を南下し、登山口がある田貫湖に向かう。田貫湖の北側キャンプサイト駐車場に車を止めるが、すでに満車状態で1台だけかろうじて止められた。1台は少し離れた田貫神社の駐車場に置き、キャンプサイト駐車場に戻ると、1台分空いたから車を取ってこいと。駆け足で戻り、車を無事にキャンプサイト駐車場に止めたが、我輩は山に登る前に疲れてしまう。トイレとストレッチを済ませて出発し、



管理棟の脇からキャンプサイトを通り登山道に出る。ここからは尾根を歩くようになり、左がヒノキの植林地、右が雑木林の登山道になる。ここからは健脚組とシルバー組に分かれて行動する。

少し登るとベンチとテーブルがあり、休憩を取って古河の銘菓「白玉」を美味しくいただく。富士山の眺めも良く、テーブルにシルバー組も休むように「白玉」を置いて先に進む。広い登山道を登り、途中休暇村への道を左に分け登って行くとやがて登山道が細くなり、傾斜もきつくなる。途中から直登する登山道と、右側をジグザグに登る道が並行し、合わさった所にテーブルとベンチがある。休憩をとってミカンをいただき、水

を飲んで水分を補給する。山頂から戻ってきて、このテーブルで昼食を食べる予定だ。

シルバー組はここまでの予定なので、シルバー組のミカンをテーブルに置き山頂を目指す。

山頂までは自然林の中を歩く登山道で、急坂を30分足らず頑張ると長者ヶ岳山頂に出る。

山頂は樹林帯の中だが、東側斜面は開けて富士山の眺望がすばらしい。皆さんも秀麗な富士山に大喜びで、富士山バックに写真を撮り合っていた。山頂にはテーブルとベンチがあり、シロヤシオやミツバツジが彩りを添えていた。記念写真を撮って下山する。



山頂から少し下ると大勢の登山者が登って来た。ツアー登山の団体や、グループ登山の方々为数組、次々に登って来る。すれ違いで待たされ、少し時間が掛かったがテーブルまで戻った。シルバー組はすでに到着し、休憩していた。無事再会を喜び合い、お互いの状況を伝え合う。ラーメンを作り、ランチタイムとする。ラーメンとおにぎりやパンを食べ、空腹が満たされたら下山開始。全員一緒に来た道に戻り、途中の休暇村分岐から休暇村に下る予定だったが「舗装道路は

歩きたくない」と言うので、シルバー組とまたここで分かれる。健脚組は分岐を右に、休暇村へ向かって下るが、シルバー組は来た道を戻り北側キャンプサイト駐車場に向かった。



休暇村への道は急坂だが、九十九折れに下るので歩き易い。下って行くと沢沿いの暗い植林帯を下る道になり、滑りやすい。広場に出て舗装道路を下ると休暇村の裏に出て、舗装道路を回り込むように休暇村の前に出ると、有名な田貫湖のダイヤモンド富士を見る展望所に着く。富士山をバックに記念写真を撮り、田貫湖畔のサイクリングロードを歩き北側キャンプサイト駐車場に着く。シルバー組もすでに到着しており、無事合流できた。靴を履きかえ、トイレを済ませて帰

路につく。昨日西湖に向かう際、鳴沢村から河口湖にかけてひどい渋滞になっていたの、富士市に出て東名高速で帰る予定にしていた。

ナビで調べると距離が50Km 位遠回りになるので、渋滞覚悟で来た道を戻ることにする。

精進湖あたりから渋滞になり、鳴沢氷穴あたりではほとんど動かなくなり、やっぱり東名高速に回ったほうが良かったかなと後悔した。ところが道の駅「なるさわ」を過ぎたあたりから動きだし渋滞が解消された。中央高速の渋滞も、大月から小仏トンネルまで1時間くらい掛かったがその後は順調に走り、岩舟支所に予定より30分遅れで帰着出来た。

今年も天気に恵まれ、素晴らしい富士山に出会え、充実した山行を満喫できた。

